

	公表	保護者等からの事業所評価の集計結果
--	----	-------------------

事業所名		放課後等デイサービス てくてく		公表日		2025年4月30日		
				利用児童数		40		
						回収数		
						29		
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環 境 ・ 体 制 整 備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	23	3		3		利用者一人一人の状態像に合わせた活動スペースが確保できるよう努め今後も利用者にとって居心地のよい環境になるよう工夫していく。また、今後は面談時にご希望にそって活動スペースを見ていただく機会を設けたり活動時の様子をおたよりを通してご覧いただくことで、さらに安心して利用して頂けるよう努めていく。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	14	5		11	子ども何人に対して先生の人数がわからない。現状を知りたい	送迎時も各学校の下校時刻に合わせて随時行っているため、人員配置以上の職員を配置している。今後も適切な人員配置、及び専門性の向上と支援に努める。また、今年度よりおたよりを発行し、職員の紹介を行い、より安心して利用していただけるよう努める。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	19	2	1	7		車椅子への乗り降りはスタッフが介助し、部屋や建物の入り口や玄関にはスロープや手すりがあり2階への移動はエレベーターを設置しており、部屋と部屋との段差もなくスムーズでバリアフリー化の構造になっている。今後はご確認されたい保護者については面談時等に声掛けしていく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	19	5		5		利用者一人ひとりの状態や利用者同士の相性も考え活動スペースを分けて落ち着いて過ごせるよう配慮している。1日支援の日は午前中は未就学児が使用している部屋は使用できない為、ご不便やご心配をおかけすることもある。外出できる時には外出する等、工夫しながら今後も可能な限り活動に落ち着いて取り組める環境を整えていく。清掃については毎日掃き掃除、拭き掃除を行っているため安心して頂きたい。
適 切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	23	3		3		今後も学校や家庭、他事業所と情報共有しながら特性に応じた支援を同じ方向性で勤めることでご本人が戸惑わずに課題や目標が効率よくクリアしていけるよう努める。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	20	3		4		支援プログラムについては、事業所のホームページに掲載されているので御覧頂きたい。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	26	2				個別支援計画のプロセスに基づき、モニタリング及び、アセスメントを実施し、支援会議を経て作成そておる。今後もてくてくで利用者の様子を保護者にお伝えしながら利用者や保護者のニーズや思いに沿った目標を設定していく。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	24	2		3		利用者は当然の事、保護者の要望にも可能な限り応えられるように今後も情報共有、連携をしていく。また、移行支援としては事業者間や学校、児童館、関係機関と情報共有や連携を図り、地域交流に積極的に参加することで、顔見知りになり、地域の方々の理解とサポートが得られる様にきっかけ作りに努める。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	23	3		3		毎朝行っているミーティングの際に個々の子どもたちに対する支援の方法、気になる点、課題などを話し合い、より良い支援体制を構築できるよう日々努力している。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	16	6	1	6		個々の子どもたちの嗜好や動向に注視しつつプログラムを設定している。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	4	2	12	11		市主催のイベントへの参加や同じ法人の保育園等他施設との交流を考えている。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	22	3	1	2		年2回の保護者面談、またはその他の機会に保護者からの質問には適宜対応をしている。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	24	3		2		より良い支援が出来る様必要な支援内容について設定できるように努めていきたい。

保護者への説明等	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7	4	10	8		コロナ禍があり交流は途絶えていたが、保護者向けの研修等があれば紹介等情報提供をしていく。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	20	6	2	1		子どもの状況の変化について、送迎時等にお伝えし、保護者さんからもお聞きしています。より適時に共有できるよう、保護者さんとのやり取りを大事にしていこう。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	21	5	3			年2回の面談を実施していますが、随時、相談に応じていく。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	22	4		3		子どもの気持ちを受け入れ、気持ちの状態によっては個別に関わる時間を設けています。今後も一人一人に寄り添う支援を心がけていきます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	4	13	9	コロナ以降情報の提供があまりない	コロナ以降、ご家族が交流できるイベントを開催していません。保護者さんの要望をお聞きしながら、交流の機会やきょうだいへの支援を検討していきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	17	4	2	5		保護者さんから相談いただいた際は、早急に職員間で対応方法を検討し、電話や直接お話しさせていただいて対応できるよう努めています。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	21	5	1	1		送迎時や連絡帳にてお子さんの様子をお伝えしています。場合によっては電話で個別に伝えるようにします。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	6	12	4	6		今後おたよりを発行し、日頃の活動の様子や連絡事項を伝えていきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	25	2		1		今後も個人情報漏洩しないよう取り扱う際は十分気をつけます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	19	3		7		マニュアルは策定していましたが保護者の方への周知が不足していたので周知を図っています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	16	2		10	いつ実施しているか発信がほしい	避難訓練を実施する際は、おたより等でお知らせできる様に努めます。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	18	4		6	訓練方法等発信がほしい	今年度から連絡帳だけでなく、お便りにて避難訓練の発信、報告をしていくことで、保護者様に周知する。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	19	5		4	説明はされている	今後も送迎時や連絡帳、必要に応じて電話連絡にてご説明していく、保護者様に理解していただけるよう迅速丁寧な説明に努めていく。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	24	3		1	てくてくに行く日はとっても嬉しそう	20名と言う大きな集団の中、日によって不安感が強い利用者さんについては限られた空間や職員の中で状況に合わせた環境を作ることが難しい日もあった。今後も外出等も取り入れながら選択肢を増やし、さらに個別的な配慮が可能になるよう努め、安心して過ごせるよう支援する。又、「楽しい。行きたい。」と言ってもらえるよう支援内容について検討していく。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	24	3		1	とても楽しみにしている 日によって波があり楽しみにできないこともある	
	29	事業所の支援に満足していますか。	19	8		1	満足している 体を動かす活動をしてほしい	面談を通して保護者様からのご意見を取り入れ、春休み頃から外出を多く取り入れてきた。今後も保護者だけでなく、利用者からの要望にも可能な限り対応できるよう業務改善を図りながらより良い事業所運営に努める。